

私保協ニュース

(No. 31 令和4年4月18日号)

令和4年4月18日

会員各位

一般社団法人広島市私立保育協会
理事長 松尾 竜

保育中に5歳男児が行方不明となり死亡した事故を受けて

平素より、当協会の事業にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月16日（土）のお昼頃、西区内の保育園で保育中に5歳児男児が行方不明となり、近くの河川で発見されたが死亡していたという、あってはならない痛ましい事故がありました。

詳しい状況はまだわかっていませんが、防犯ビデオの録画から男児自らが園外に出て事故に巻き込まれたのではないかとされています。

各園では、登降園時間は職員が門扉付近に立つことはもとより、門扉付近に防犯ビデオを設置し人の出入りをモニターで確認する。あるいは、門扉の取っ手を子どもの手が届きにくい高さにするなど、様々な対応や工夫がなされているかとは思いますが、これで絶対に安心という対策はありません。

については、この痛ましい事故を、各会員園が他人事とは思わず自分事として捉え、どのようにすればこのような事故を防ぐことができるのか、職員会議等で話し合い、具体的な対策を講じていただければと思います。

また、よい対応策等ありましたら、ぜひ、会員全員で共有できればと思います。

各園で展開される保育が委縮されることなく、子どもの命を守るということに、これまで以上にご配慮いただきますようお願いいたします。

【情報提供】

ご参考までに、ある園では、比較的安価で取り付けができる門扉の輪っかを取り付けています。少し離れた場所からでも目視で門扉が締まっているということが確認できます。その他、うちの園ではこうしているなど、参考になるものがあれば、情報提供いただけると助かります。



(文責: 松尾理事長)